

民生委員児童委員に向けた

News letter M I N S E I

Vol. 12 2023.9

相模原市中央地区民児協 副会長 小金澤近雄さん



「ながら」でつながる地域の輪

奥様の介護と民生委員活動

奥様の介護をしながら民生委員を12年続ける相模原市中央地区民児協副会長の小金澤近雄さん。自治会長の経験があり、地域のことを良く知っているということで自治会から相談を受け、引き受けることになりました。当初は、奥様の状態がそこまで悪くなく、シルバー人材センターの仕事と調整しながらできると思い、民生委員活動がスタートしました。

奥様はうつ病のため、病院に行って薬を貰い、悪いところを取り除けば治るというものではありません。良くなったと思ったら沈んで、また良くなったの繰り返しの中で、12年間で2度の入院がありました。今は、主治医と相談しながら薬の量を調整し、週1回、訪問介護を利用して様子を見ているそうです。

周りに「奥さん、健康そうでだいぶ良いんじゃない」と言われることがあるそうですが、「外に出ると笑顔を見せて話しかけられたことに対して受け答えをする。それでも、家に帰ると子どもに戻ったように気力が起きない。そういう病気だからね」と小金澤さん。逃げ出したいと思ったこともあったと切実な思いを話してくれました。

奥様と自分の気持ちに向き合える距離感を大切に

そのような中でも民生委員活動を続けられたのは、奥様との適度な距離感と自分の気持ちを保つためでした。「家の中で四六時中、女房と一緒にいると視野が狭くなってしまふ。だから、民生委員活動で外に出ると気が紛れて、気持ちの切り替えができる」と言います。



介護と民生委員活動の両立について、「大変ですか？」と尋ねたところ、「忙しくしている方が自分のためにはいい」という言葉が返ってきました。小金澤さんは、「ネガティブに考えると益々ネガティブになってしまうから、なるべく前向きに考えた方が自分が辛くならない。こういう考えができるようになったのは女房のおかげかな」と和やかな笑みを浮かべながら話してくれました。

民生委員同士での話し合いを大事に

相模原市中央地区民児協は副会長が2名おり、定例会では、副会長が司会進行を務めています。小金澤さんの都合が悪い場合は、もう一人の副会長がカバーをし、夜間の会議に出なくても支障のないよう調整をしています。会長の内山さんは、「小金澤さんは、自分から大変なんだという事はほとんど言わないし、そういう姿を見せない。また、そういう状況だからといって、自分の役割を果たさない、手を抜くことはない。けれど、『女房の調子悪いんだ』と話してくれた時は、お休みしても大丈夫だから」と伝えています。

相模原市中央地区民児協では、小金澤さんと一緒に活動することで、一人ひとりの生活環境や活動に対する想いや悩みを尊重しながら、民生委員同士で助け合う風土づくりをより一層大事にしたいと思えるようになったそうです。そのため、役員会や各部会委員会での話し合いを密に行い、活動の意味や必要性を民児協全体で確認することを心がけています。

同じ立場だからこそ話せるホンネ

地域で色々な方と接する中で、小金澤さんは隠しても仕方がないから、「お互い大変だね、頑張

り過ぎはよくないよ。何かあったら言ってね」と、自分自身の経験から、大変だけどそこそこの息抜きが必要ということと、根を詰め過ぎない範囲でやるのが大事ということを伝えていきます。小金澤さんだからこそ、同じ立場の方の気持ちに寄り添い、本音で話し合うことができます。

12年を振り返って見えた活動のつながり

ただ何となく民生委員をそこそこ長くやってきただけのような気がするけれど、地域の様々な話が聞こえてきて、活動のつながりが見えてくると、「色々なところのクッションになってあげられる」と小金澤さん。今までたくさんの人に面影を見てもらったことへの恩返しがやっとできたと周りへの感謝を胸に活動しています。



**仲間と和気あいあい、やるなら楽しく！
をモットーに活動しています**

同じ民生委員とは言え、活動に対する想いや悩みは人それぞれです。一人ひとりが自分らしく、楽しく活動するために民児協としての工夫や仕組みづくりを推進していくことで、持続可能な民生委員活動につながっている様子が伺えました。

- * 神奈川県社協 民生委員児童委員部会は、県・政令市の民児協が参画する協議体です。様々な地域性やきめ細やかな幅広い委員活動から得る多様な情報や知恵を集結し、県政令市の枠を越えて、交流、研修情報収集、意見具申など、スケールメリットを活かした協働事業の運営を行っています。
- * このニュースレターは、神奈川県内の民生委員児童委員向けに委員が抱えている共通の課題や異なる地域特性を生かした活動事例に関する情報を発信するために、不定期に発行します。



HP : [神奈川県社協民生委員児童委員部会](#)



ツイッターアカウント : @kanagawa_syakyo



身近な地域で活動する民生委員児童委員のことを多くの方に知っていただけるよう、**30秒のPR動画**を作成しました。ぜひご覧ください！！

